

令和5年度

学校関係者評価報告書

学校法人英智学園

専門学校日本デザイナー芸術学院

## 令和5年度学校関係者評価報告書について

学校法人英智学園専門学校日本デザイナー芸術学院は、すべての教育活動・学校運営業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るために平成25年度より学校自己評価を実施しております。

また、平成31年度より引き続き本校に関係の深い方々のご意見をお聞きし、教育・学校運営に反映すべく学校関係者評価を実施しました。

今回の学校関係者評価も昨年同様書面にての開催になってしまいましたが、学校関係者委員の方々からは、職業人、社会人として必要な技術、技能、人間力の教育方法や教育環境等について、貴重なご意見をいただきました。

この貴重なご意見は今後の施策に反映し、質の高い教育の提供、より優れた学校運営を目指していこうと教職員一同、努力して参る所存です。

引き続きご指導、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

令和6年6月

学校法人英智学園  
専門学校日本デザイナー芸術学院  
校長 村上 克巳

## 学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

### 【評価委員】

学校教育法施行規則の規定、文部科学省ほか関係行政機関のご指導をふまえ、下記の4名の方々に評価委員をお願いいたしました。

	氏名	所属	任期	種別
1	野口 和江	国際マルチビジネス専門学校 校長	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで	教育関係者
2	早坂 篤	有限会社スタジオ シー・オン 代表取締役	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで	企業関係者
3	五十嵐 冬樹	火花デザイン室 代表	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで	卒業生代表
4	高橋 正樹	高橋生花舗コーラルショップ 店長	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで	地域住民代表

### 【評価方法】

評価者の方々に、学校関係者評価の概要および学校自己評価報告書をお送りし、令和5年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただいた後、全員の取りまとめたご意見を再度各評価者にお送りし、結果を確認していただきました。

※今年度も書面開催の為

### 【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、本報告書にとりまとめました。令和5年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

### 【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の教育計画、教育課程編成、業務計画、施設・設備計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。また学校評価事業は毎年度、継続していきます。

## 学校関係者評価者意見・質疑

### 自己評価項目別

#### (1) 教育理念・目的

- b. デザイン芸術学科で各科も明確ではあるが、これからの入学者のニーズを考え、より各科の名称や授業内容を明文化しても良いかもしれない。
- c. 業界の将来のニーズにマッチしているのか？
- d. 業界についての求められるニーズは日々ものすごい速さで変化していると感じる。ソフト操作などの専門的なスキル、あるいは独創的アイデア力を高めていく方策などへも積極的に取り組んでもらいたい。

#### (2) 学校運営

- f. 内部のシステムの情報保護や使いやすさなどを考えた方が良い。

#### (3) 教育活動

- d. 企業との連携強化は必要だが、その際、学校側の視点だけでなく企業や団体側に対して、学校として提示できるメリットなども意識する必要はあるのではないかと  
思う。
- e. インターンシップなど、在学している学生と社会との接点はもっと確保すべきだ  
と思う。積極的に送り出す方法を考えてはどうだろうか？

#### (4) 学修成果

- a. 企業が欲しい人材は、単純な技術要員となるだけでなく将来性を期待できる人材  
なので、学生本人の資質とも言えるかもしれないが、キャリアガイダンスなどで常に  
考える教育をしていくことで、結果的に就職率の向上に繋がっていく気がする。
- a. これからどんな就職先との情報交換ができるか？
- d. 個人間の連絡になってしまう状況はとてよく理解出来ますが、公式窓口、サポ  
ート体制の整備は早急に必要だと思います。

#### (5) 学生支援

- e. 学生の生活環境が一定水準整備され、また面倒見の良い学生寮である事が  
必要だと思います。ある程度の料金や費用はかかるものですし、そもそも学校  
専用でなくても良いのではないかと考えます。
- g. 卒業生の就職先データベースシステムを作成し、卒業時にアカウントを渡し  
て、各自転職時などの際に入力して頂くのはどうか？

(6) 教育環境

- b. 企業側の連携強化は必須だと感じる。理想とする職業の現場だけでなく、それに関わる業界全体を体験できる仕組みなどがあると学生の意欲向上や新たな刺激になって面白いと思う。
  
- b. 年度ごとにインターンシップの情報提供を更新しているか？（前もっての受け入れ先のヒヤリングやアンケートの実施）

(7) 学生の受入れ募集

- a. 学生数の確保も順調のようなので、ホームページ等で入学希望者またその保護者が知りたい学校の今や、学校の取組等を適正に発信されていると思う。

(8) 財務

この項目は、ご意見がありませんでした。

(9) 法令等の遵守

この項目は、ご意見がありませんでした。

(10) 社会貢献・地域貢献

- b. ボランティアへの参加は大変なこともあるが、学生にとっても人の役に立つ経験を通じて、コミュニケーション能力を養うことができると思う。